

岳陽留学だより 3

本年度、沼津市の友好都市湖南省岳陽市の湖南理工学院へ、岳陽市の公費生（学費・指定教材費・宿舍費免除）として留学していた遠藤裕昭です。

8月末より約3ヶ月の間という短い留学生活でしたが、私の留学生生活を皆さんにご紹介します。



1

最終回の今回は、3ヶ月間の岳陽生活でお世話になった方たちを紹介します。

まず留学生の窓口である湖南理工学院国際交流処ションユエンの熊愿先生。岳陽市内から車で2時間位の観光地、張谷英村ちやうこくえいむらに行った時の写真（写真1）。学校の事、宿舍の事などを取り計らってくれました。



2

次に岳陽に来て最初に仲良くなった現地の人（写真2）。実は足裏マッサージ店のマスターです。最初は不安ながらお店に入って行きましたが、終わった後お茶を飲みながら色々話しかけてくれ、ちょうど9月初めごろの中国は『抗日戦争勝利70周年パレード』関連の報道も多い折で、私はあまり気にしてなかったけれど、色々気遣ってくれた人です。また、夕飯がまだだと言うと、食事を用意してくれ一緒に食べたこともありました。



3

こちらは喫茶店葉慈イェツのママさんと彼氏、アルバイトの子（写真3）。ここは外国人がよく来る店で、英語も通じ、ママさんは日本語も片言ながらはなせます。問題が起こるといつも親身になってくれた人たちです。



4

福地愛子さん、岳陽に住んでいる唯一の日本人（写真4）。挨拶に行ったらなぜすぐ来ないと怒られてしまいました。夕飯をご馳走になり日本の話で盛り上がり、やはり日本が懐かしいのだなと感じました。



5

忘れてはならない人、歡歡ファンファン（写真5。右は旦那さん）。彼女は日本語クラスの先生で、一度クラスに遊びにおいでと声をかけてくれ、多くのクラスの人達（写真6・7）と友達になりました。やはり日本語を勉強しているので色々私の事を気にかけてくれ、一緒に食事をしたり、薬屋に連れ行ってくれたり、バスケの試合をみたり、楽しい留学生活を送れました。



6

また最後にカラオケ店で送別会を開き、みんなで『朋友（友達）』と言う曲を歌ってくれました（写真8）。実は最初40人位来ると言う話で6時45分開始にしたのですが、開始時間に来たのはたった4人、40分位過ぎてバタバタと結局25人の人が来てくれました。ああこれが中国なのか？と、何とも言えない楽しい思い出になりました。

最後に、スーパーの肉屋と乾物屋のおばさん、宿舍の駄菓子屋のご夫婦、もちろん岳陽市人民政府の人達にも大変お世話になりました。ありがとうございました。



8



7